販路拡大のキモ（第4回）

インスタ、決済、通訳。ネットの必要性増すばかり

2018.10.15

従来、外国人旅行者が、無料Wi-Fiを利用する目的は情報検索だった。交通手段、宿泊・観光施設、店舗などの情報を、ネットで検索するためにスマホやタブレットをWi-Fiに接続する。無料Wi-Fiが使えることをアピールして来店客を増やし、売り上げ増加につながる効果もあったが、実際には、来てくれた外国人旅行者へのサービス拡充という側面も大きかった。

しかし、近年は外国人旅行者の行動が変わってきた。経済産業省が公表した「2018年上期の訪日外国人消費指数の動き」によると、費目別では「飲食費」や「娯楽サービス費」の好調が目立つ。インバウンド需要は、従来の「買い物」「宿泊」主体から、飲食や娯楽サービスへと拡大。それだけに、以前より無料Wi-Fiの提供が売り上げ向上につながる可能性が高まっている。スマホ、タブレットでFacebookやTwitterなどのSNSに、情報を「発信」する外国人旅行者が増えたからだ。

「インスタ映え」。お気に入りの風景や料理などをスマホで撮影し、写真投稿サイト「インスタグラム」に発信する。それを誘引するインスタ映えは2017年の流行語大賞にも選ばれた。外国人旅行者にとってスマホから情報を発信する際は、ネット接続のためのWi-Fi環境があると、もちろん便利だ。

飲食店で注文した料理の写真をスマホで撮影し、その場でSNSへアップ。その写真を見た人が店舗を訪れ、同じ料理を注文する。SNSを介し、口コミのように評判が広がる。広告や宣伝ではない情報は、信ぴょう性が高い。売り上げ拡大の原動力になる。いまやWi-Fiは、こうした情報発信に不可欠なインフラだ。

スマホ決済、通訳など店舗の業務基盤に… 続きを読む